

1 ベクトル $\vec{a} = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ -3 \end{pmatrix}$, $\vec{b} = \begin{pmatrix} -2 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix}$ に対し, 以下の問に答えなさい.

- (1) ベクトル $\vec{u} = \vec{a} - \vec{b}$, $\vec{v} = 3\vec{a} + 2\vec{b}$ を成分表示しなさい. (各 4 点) $\vec{u} = \begin{pmatrix} 3 \\ 3 \\ -4 \end{pmatrix}$, $\vec{v} = \begin{pmatrix} -1 \\ 4 \\ -7 \end{pmatrix}$
 (2) 長さ $|\vec{u}|$, $|\vec{v}|$ を求めなさい. (各 4 点) $|\vec{u}| = \sqrt{34}$, $|\vec{v}| = \sqrt{66}$
 (3) 内積 $\vec{u} \cdot \vec{v}$ を求めなさい. (5 点) $\vec{u} \cdot \vec{v} = 37$
 (4) ベクトル \vec{u}, \vec{v} のなす角 θ の余弦 $\cos \theta$ を求めなさい. (8 点) $\cos \theta = \frac{37}{2\sqrt{561}}$

2 ベクトル $\vec{a} = \begin{pmatrix} -2 \\ 1 \\ 4 \end{pmatrix}$ に直交するベクトルを ひとつ 答えなさい. ただし, 零ベクトル以外とする. (15 点)

\vec{a} との内積が 0 にすればいいので.
無数にある。たとえば $\begin{pmatrix} 0 \\ -4 \\ 1 \end{pmatrix}$

3 ベクトル $\vec{a} = \begin{pmatrix} 2 \\ -2 \\ 3 \end{pmatrix}$, $\vec{b} = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -2 \end{pmatrix}$ に対し, 以下の問に答えなさい. (各 12 点)

- (1) 外積 $\vec{a} \times \vec{b}$ を求めなさい.
 (2) \vec{a} と \vec{b} の両方に直交する長さが 1 のベクトルを ひとつ 答えなさい.

$\vec{a} \times \vec{b} = \begin{pmatrix} 4 \\ 7 \\ 2 \end{pmatrix}$

4 ベクトル $\vec{a} = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -2 \end{pmatrix}$ と $\vec{b} = \begin{pmatrix} -2 \\ k \\ 4 \end{pmatrix}$ に対し, 外積 $\vec{a} \times \vec{b}$ が零ベクトルとなるときの実数 k の値を求めなさい. (20 点)

$k = 0$

5 ベクトル \vec{a} に対し, ベクトル \vec{b} と \vec{c} は

$\vec{a} \cdot \vec{b} = \vec{a} \cdot \vec{c}$ かつ $\vec{a} \times \vec{b} = \vec{a} \times \vec{c}$ — (*)

を満たしているとする. このとき, $\vec{b} = \vec{c}$ が成り立つかどうか考察し, その理由を説明 (証明) しなさい. ただし, $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ はどれも零ベクトルでないとする. (12 点)

ヒント 内積、外積、線形性より (*) からは

$\vec{a} \cdot (\vec{b} - \vec{c}) = 0$ か, $\vec{a} \times (\vec{b} - \vec{c}) = \vec{0}$ — (*)

と書き換えることができる. $\vec{d} = \vec{b} - \vec{c}$ とおくと, (*) は

$\vec{a} \cdot \vec{d} = 0$ か, $\vec{a} \times \vec{d} = \vec{0}$ — (*)

となる. (*) を満たす \vec{d} はどのようなベクトルが考えられる.